

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

私は餃子のまちとして知られる栃木県宇都宮市の出身です。修論の研究テーマ(波形鋼板ウェブ PC 橋のせん断伝達機構に関する基礎研究)を通じて、当時、土木学会田中賞を受賞した秋田県雄勝町に架かる銀山御幸橋を施工していたドーピー建設工業より実施工に関する貴重な情報を提供いただいた縁で 1997 年に入社しました。

入社時は研究開発部門への配属となり、そこでは大学の基礎研究と企業の研究開発(結果重視)とのギャップに悶々とした日々を過ごしておりましたが、希望する実務部署(北海道支店設計部)への異動が叶い、2002 年には道央自動車道八雲町に架かる道内初の波形鋼板ウェブ PC 橋(中央支間 102m を有する張出施工)の詳細設計および施工管理に携わることができました。この時の苦勞と喜びが今の私の原点のように思います。

その後、本格的なメンテナンス時代の到来を迎え、首都高速都心環状線千鳥ヶ淵に架かる PC 連続 T 桁橋(連続合成桁に類似する今はなき構造形式)の耐震補強工事や北陸自動車道に架かる連続トラス橋の床版取替工事など、新設工事にはない難易度を有するリニューアル工事を経験し、技術者としての「ものの見方・考え方」が更に鍛えられたと思います。

さて、私の技術士の取得は入社後 19 年を経た 2016 年で、受験に際しこれまでの経験と知識を上手く整理できたことが合格に結びついたと思います。今後も自己研鑽は勿論のこと、担い手不足が深刻化する現状を踏まえ、持続可能な社会インフラの構築実現に向け次世代を担う若手技術者の方に、失敗も含めた様々な経験と諸先輩から学んだ多くの技術を伝承していくことが私の重要な責務と考えます。

青木 正行 (あおき まさゆき)

●建設部門
(鋼構造及びコンクリート)

勤務先

ドーピー建設工業株式会社



→次号は、高松 潤さん(建設部門)

私は札幌生まれで、大学院まで札幌で暮らし、北海道庁職員として 9 年ほど勤務し、昨年 6 月に北海道近代設計に入社しました。

社会人振り出しの網走建設管理部では、河川・砂防・漁港に係る事業計画や工事監督を行い、H28 年災等なかなかインパクトのある現場を経験しました。その後異動した道庁本庁では、防災施策全般やダム管理・河川計画に携わりました。

技術士 2 次試験は、2019 年(令和元年)度に合格しました。ちょうど網走→札幌への異動直後で 4～6 月に勉強時間が取れず諦めかけたものの、試験直前の連休に“ヤマ張り”した予想問題が見事に的中しました。口頭試験では、当時の会場があった渋谷でスクランブル交差点に圧倒され益々緊張が高まったものの、試験官も優しく、良い雰囲気で終えることができました。総じて運に恵まれたとは思いますが、合格の一番の決め手は、前年度から道庁技術士会の方々に行っていただいた論文添削・模擬面接等のご指導だったと思います。転職した今でも大変感謝しています。

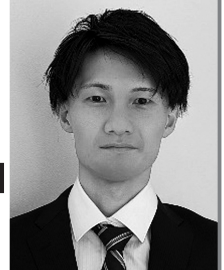
技術士取得から数年後、コンサルの仕事に興味を湧いたことから、分野(河川→道路へ鞍替え?)も気にせず、勢いで現所属に入社しました。入社後に主担当となった電線共同溝詳細設計では、目的物を一から計画し、試行錯誤しながら作図、関係者との合意形成、という一連の流れを短期間で経験させていただき、ハードながらも充実したコンサル生活をスタートしました。昨年度は何とか RCCM(道路)を取得し会社に報告したところ、「じゃあ次は技術士(道路)で!」という雰囲気になってしまったので、今年度受験します。今のところ勝算はありませんが、腱鞘炎には気を付けつつ頑張りたいと思います。

吉村 岳 (よしむら たけし)

●建設部門
(河川、砂防及び海岸・海洋)

勤務先

株式会社北海道近代設計



→次号は、池田 貴大さん(建設部門)